

登録コード	ASP04500	開講年度	2026					
授業科目	地域環境共生学特別実験実習					担当教員	大窪 久美子	
英文授業名	Advanced Experimental Course on Rural Environmental Symbiosis					副担当	鈴木 純	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	1年次生	
講義室			授業形態	実験	備考			
信大コンピテンシー	非該当							
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2026ASカリ，2025ASカリ，2024ASカリ，2023ASカリ							
	【専攻】生命科学，食品科学，食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。					⇔	地域環境共生学に関する様々な研究を実施する上で必要な高度基礎知識、フィールド調査手法、実験手法を修得している。修士論文の作成に向けたフィールド調査・実験の組み立て、調査・実験の実施、得られた結果に基づく考察ができる。	
授業の概要	現地調査（気象、動植物、景観、物理環境と生活環境の関連の調査） 調査の解析 プログラム作成を含むコンピュータを利用したデータ解析、GPS解析、GISの利用							
Contents:	以下①～⑧を中心に地域環境における人と自然、生産活動等について総合的な視点から学修し、地域の計画、管理を実践的に探究する。 ①農山村の気象環境の測定と評価 ②棚田の生産性と整備計画 ③中山間地の生産環境 ④集落の景観を規定する自然環境 ⑤都市・庭園における水遣いの物理 ⑥山地帯から高冷地の自然と植生及び人との関係 ⑦山岳地域における動物の生態と分布、環境 ⑧林野利用の諸形態と森林の環境							
授業計画	第1回：農山村の気象環境の測定と評価(4)（担当 鈴木 純） 第2回：農山村の地象環境の測定と評価(4)（担当 鈴木 純） 第3回：棚田の生産性と整備計画(4)（担当 内川義行） 第4回：中山間地の生産環境(4)（担当 佐々木邦博、上原三知） 第5回：集落の景観を規定する自然環境(4)（担当 上原三知） 第6回：都市・庭園における水遣いの物理(4)（担当 上原三知） 第7回：山地帯から高冷地の自然と植生及び人との関係(4)（担当 大窪久美子） 第8回：山地帯から高冷地の自然と動物及び人との関係(4)（担当 大窪久美子） 第9回：山岳地域における動物の生態と分布(4)（担当 池田敬） 第10回：山岳地域における動物の行動と生息環境(4)（担当 池田敬） 第11回：林野利用の諸形態と森林の環境 (4)（担当 三木敦朗） 定期試験 （ ）内の数字は開講時限数で、5時限／1日を最大としている							
成績評価の方法	単元ごと（担当教員ごと）に行う試験およびレポートにより判定する。							
成績評価の基準	成績評価の基準：「「水準にある」：全ての実習に取り組み、レポートにおいて課題に対する回答が的確 「やや上にある」：積極的に実習に取り組み、レポートにおいて課題に対する回答が非常に的確 「かなり上にある」：積極的に実習に取り組み、レポートにおいて課題に対する回答が非常に的確で論理的な考察を含む 「卓越している」：積極的かつ主体的に実習に取り組み、レポートにおいて課題に対する回答および考察の論理性が極めて優れている」							
事前事後学習の内容	実習で取り扱う内容に関する基本的な専門用語や概念について事前に予習し、実習において知識不足の個所について復習すること。							
履修上の注意	積極的に議論、討論を行うよう、心がけること							
質問,相談への対応	随時受け付ける							
学生へのメッセージ	積極的に議論、討論を行うよう、心がけること							
【教科書】	教員から随時紹介する。							
【参考書】	「棚田学入門」棚田学会編（勁草書房） その他については、教員から随時紹介する。							